



## 新着図書案内



### 『けものみち』上下 松本清張 著 新潮文庫 (小説)

病気の夫を焼き殺して行方を断った民子。疑惑と欲望に憑かれて彼女を追う久恒刑事。政財界の黒幕、鬼頭の愛人となった民子、それをつきとめた久恒刑事もやがて権力機構の渦の中に巻き込まれてゆく。

<中央館所蔵>



### 『推理小説』 秦建日子 著 河出書房新社 (小説) (ドラマ「アンフェア」の原作)

会社員、高校生、編集者...面識のない人々が相次いで惨殺された。

事件をつなぐのは「アンフェアなのは、誰か」と書かれた本の葉のみ。

そんな中、出版社に届けられた原稿には事件の詳細と殺人予告、

そして「事件を防ぎたいければ、この小説の続きを落札せよ」という要求が書かれていた...

<中央館・大須賀館所蔵>



### 『神はサイコロを振らない』 大石英司 著 中央公論新社 (小説)

かつて、忽然と消息を絶った報和航空四〇二便YS-11機が突如、羽田空港に帰還した。しかし六十八名の乗員乗客にとって、時計の針は十年前を指したまま...。戸惑いながらも再会を喜ぶ彼らと、その家族を待ち受けていた運命とは一。

<中央館所蔵>

### 『魔女の笑窪』 大沢在昌 著 文藝春秋 (小説)

東京で裏家業のコンサルタントをする水原。彼女には、ひた隠す秘密の過去があった。東京裏社会を舞台に必死の逃亡劇が今始まる！裏切りと騙し合いが交錯するスリリングな1冊。

<中央館・大須賀館・大東図書室所蔵>



## 「功名が辻」をより面白く見るために・・・

### 【 一豊関係の新刊 】



### 『歴史・文化ガイド 山内一豊と千代』

小和田哲男 編 NHK出版 (人物伝)

2006年NHK大河ドラマ「功名が辻」の時代背景を詳解。

一豊と千代の生きた道、合戦史などカラーグラビアで特集。

さらに少年時代から夫婦二人三脚の出世、土佐20万石の国主となるまでを描く。

<中央館所蔵>

## < 児童書 >

### 『ゆきがやんだあとで・・・』

M. ミトゥーリチ 絵 三木卓 文 福音館書店 (絵本)

雪がやんだ朝、野原にまず飛び出てきたのはうさぎたち。真っ白な毛並みは、野原ではみわけがつきません。そんなうさぎたちを、雪の小山の陰からキツネが・・・

シベリアの朝の雪原の、張りつめるような冷たさと清々しさ。そんな中での動物と人間の営みを描く絵本です。

<中央館・大須賀館・大東図書室所蔵>

